

【計数基準の変遷】	
A型地震	2010年10月1日（観測開始）～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
BH型地震	2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
変更	2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

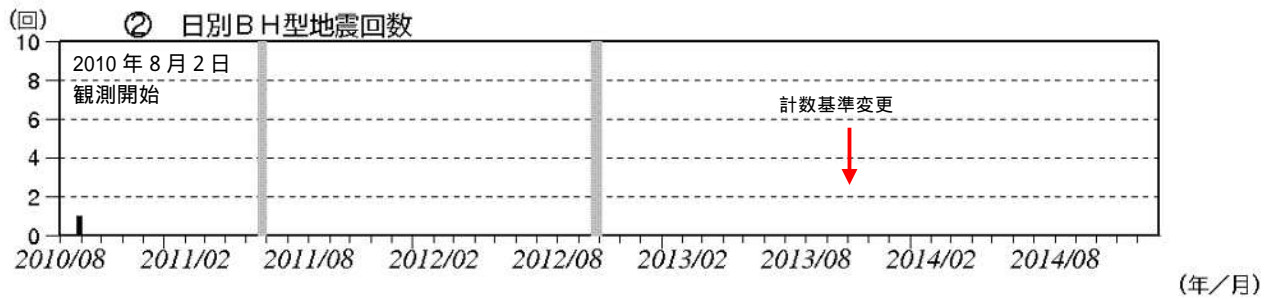
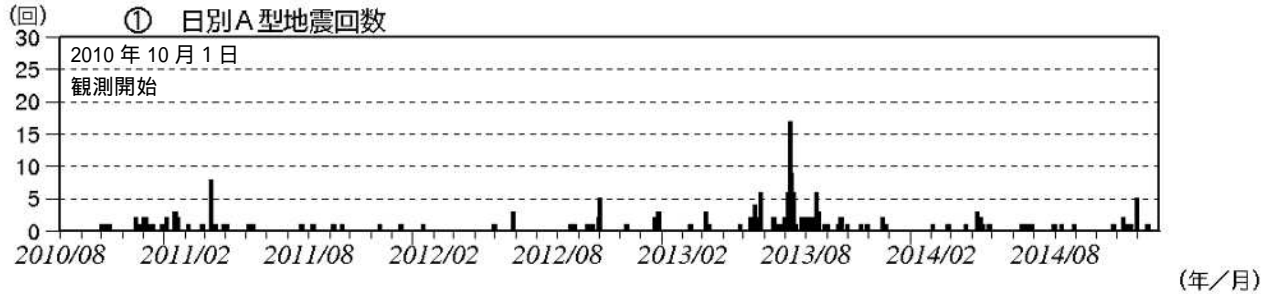


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2014年12月31日)

新島周辺の日別地震回数

・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測。

GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

・ は図1のGNSS基線に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

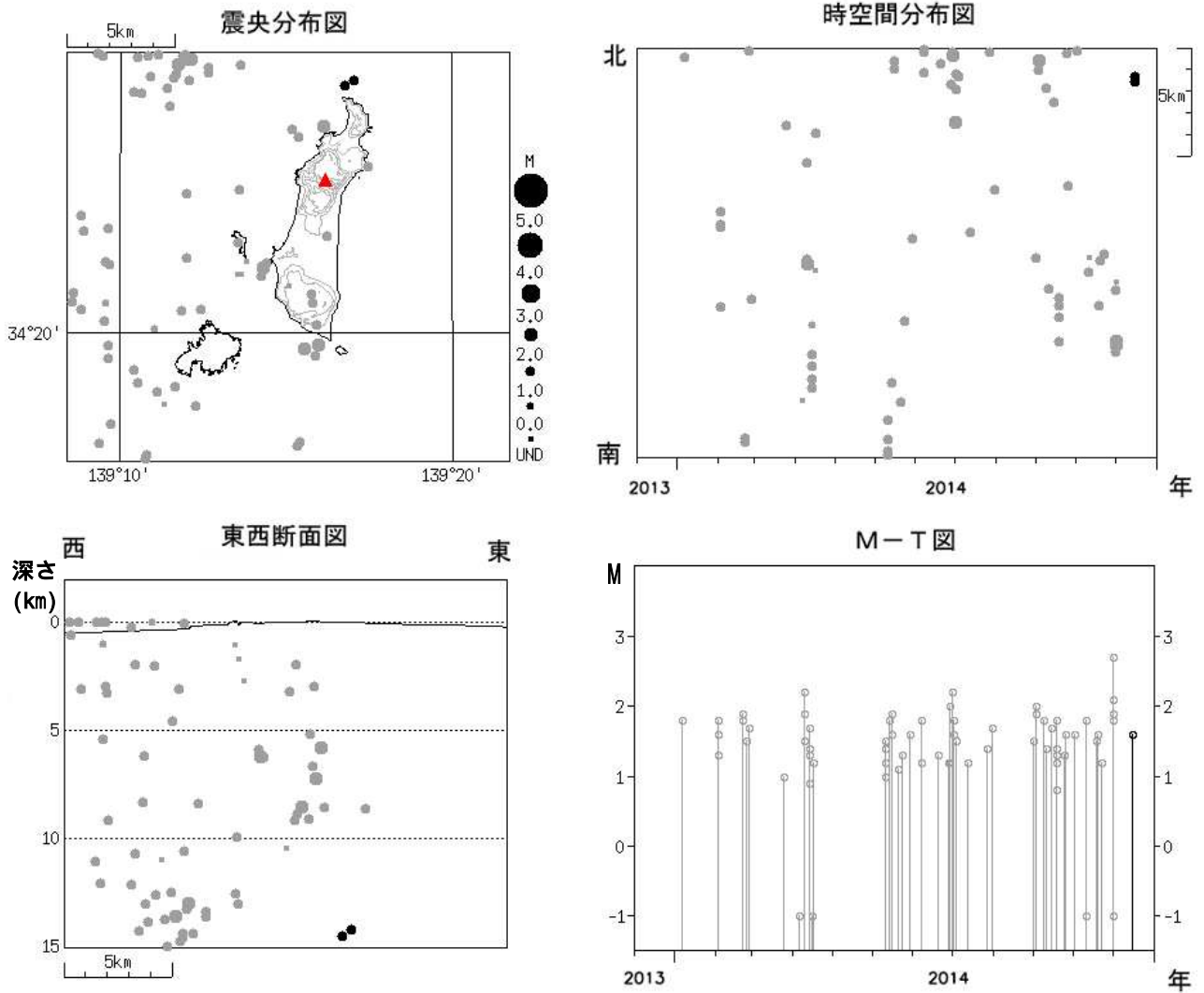


図 4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2013 年 12 月 1 日～2014 年 12 月 31 日）
 : 2013 年 12 月 1 日～2014 年 11 月 30 日 : 2014 年 12 月 1 日～12 月 31 日
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
 計数対象（瀬戸山南から半径 8 km、深さ 20km 以内）以外の地震が含まれるため、図 3 - の
 日別 A 型地震回数とは異なります。